

No	① 交付対象事業の名称	② 担当課	③ 交付金の種類	④ 実績額(千円)		⑤ 事業概要	⑥ 総合戦略での位置付け	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				事業費	交付金			指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
								指標①	指標②							
①	【中山間地でも「もうかる米づくり」推進事業】 中山間地域農業再編事業 ・機能拡充補助金	農政振興課	加速化	11,820	11,820	中山間地域農業の担い手である農業公社やまくに及び農業生産法人やまくににおいて、増加する農作業に対応するため人員体制の強化を図る。これに係る経費について、市が農業公社に対して補助する。	1-(1)-①	指標①	農業の新規従事者数(H27年度以降累計)	19	人	平成29年3月	20	非常に効果的であった	予定通り事業終了	県制度による補助金へ移行するため
								指標②	農業生産法人における米の年間生産量	60	トン	平成29年3月	68			
								指標③	空き家バンク新規登録物件数(H27年度以降累計)	30	件	平成29年3月	41			
								指標④	空き家バンク利用移住者数(H27年度以降累計)	48	人	平成29年3月	46			
								指標⑤								
②	【中山間地でも「もうかる米づくり」推進事業】 UIJターン就職支援事業	商工振興課	加速化	1,028	1,028	移住の促進にあたって、移住後の仕事や住居などをパッケージにして情報発信するため、都市部のUIJターン希望者に対して、移住相談会やHP等において市内のしごとの情報を発信する。	2-(1)-③	同上				効果があった	継続	平成28年10月開設時に28社が登録。その後も登録企業が増加していること。また、ホームページアクセス回数も順調に推移しているため。		
③	【中山間地でも「もうかる米づくり」推進事業】 移住促進事業	地域振興・広聴課	加速化	5,045	5,044	移住希望者に対して、相談や空き家の見学、移住後のアフターフォローまでをサポートする移住相談員を設置するとともに、移住相談会において中津市をPRし移住を支援・促進する。	3-(2)-①	同上				効果があった	継続	空き家登録物件は徐々に増えているため、今後は、移住希望者と物件や地域での暮らしとをつなぐ取り組みを継続する必要がある。		
④	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 メイブル耶馬サイクリングロード整備事業	観光推進課	加速化	553	553	メイブル耶馬サイクリングロードを観光素材の主力として活用するため、駐輪スタンドや看板等を整備する。また、沿線の休憩所、立ち寄り所等の設置を検討する。	3-(1)-①	指標①	年間観光入込客数	486	万人/年	平成29年3月	446	効果があった	継続	知名度向上、観光素材の磨き上げ、受け入れ環境の整備など観光振興事業として、戦略的に実施することで、なかつやばけいのブランド力を高めていくとともに、単なる誘客増ではなく、食事や購買、宿泊誘導による滞在時間を延ばせる観光事業を推進することで、地域の活性化も図っていく必要がある。
								指標②								
								指標③								
								指標④								
								指標⑤								
⑤	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 観光推進事業	観光推進課	加速化	19,254	19,254	東九州自動車道が全線開通した時期をとらえ、福岡、広島、山口方面の自動車観光層をターゲットに、中津の「見る・食べる・遊ぶ」の魅力テレビCMや高速SA・PAで情報発信する。	3-(1)-②	同上				効果があった	継続	知名度向上、観光素材の磨き上げ、受け入れ環境の整備など観光振興事業として、戦略的に実施することで、なかつやばけいのブランド力を高めていくとともに、単なる誘客増ではなく、食事や購買、宿泊誘導による滞在時間を延ばせる観光事業を推進することで、地域の活性化も図っていく必要がある。		
⑥	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 戦略的誘導観光サイン整備事業	観光推進課	加速化	12,096	12,096	点在する市内の観光スポットをやサイクリングロード沿線の観光スポットなどへ誘導するための統一的、戦略的なサイン計画を策定し周遊観光を促進する。	3-(1)-③	同上				効果があった	継続	知名度向上、観光素材の磨き上げ、受け入れ環境の整備など観光振興事業として、戦略的に実施することで、なかつやばけいのブランド力を高めていくとともに、単なる誘客増ではなく、食事や購買、宿泊誘導による滞在時間を延ばせる観光事業を推進することで、地域の活性化も図っていく必要がある。		
⑦	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 中津耶馬溪観光協会補助事業	観光推進課	加速化	9,199	9,199	観光協会の体制強化のための法人化や日本新三景選定100周年イベント、インパウンド対策、モニターツアーなどにかかる経費について、市が中津耶馬溪観光協会へ補助する。	3-(1)-④	同上				効果があった	継続	知名度向上、観光素材の磨き上げ、受け入れ環境の整備など観光振興事業として、戦略的に実施することで、なかつやばけいのブランド力を高めていくとともに、単なる誘客増ではなく、食事や購買、宿泊誘導による滞在時間を延ばせる観光事業を推進することで、地域の活性化も図っていく必要がある。		
⑧	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 ロケツーリズム推進事業	秘書広報課	加速化	3,000	3,000	中津市内で撮影が行われた映画が公開されたことに伴い、ロケ地めぐりなどのロケツーリズムを推進するため、同じくこの映画のロケ地となった杵築市とも連携したロケ地マップ作成やスタンプラリーなどを企画する。これらの経費について、事業を実施主体である中津市ロケツーリズム推進協議会に対して市が補助する。	3-(1)-②	同上				効果があった	継続	映画サブイボマスクだけでなく、NTT西日本のCMや全国放送のテレビ番組等での効果を体感している。また、旧郡部等、ロケ地としての潜在力は計り知れないと考えている。		
⑨	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつやばけい)ブランド化推進事業】 クルーズ船歓迎事業	企業誘致・港湾課	加速化	971	971	中津港へ寄港するクルーズ船の乗客へ中津市をPRするため、歓迎イベント、物販等の実施、及び周辺市町村への周遊観光を促進する。	3-(1)-⑥	同上				効果があった	継続	乗客や船会社に対してツアー商品として価値ある観光地として認識してもらうことで、北部九州の各港に寄港した際の観光ツアーに組み込んでもらうほか、定期的な中津港への寄港にも繋げることで、観光消費の拡大を図る。		

No	① 交付対象事業の名称	② 担当課	③ 交付金の種類	④ 実績額（千円）		⑤ 事業概要	⑥ 総合戦略での位置付け	⑦ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				事業費	交付金			指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
																年間観光入込客数
⑩	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつ やばけい)ブランド化推進事業】 カキ養殖振興事業	水産振興課	加速化	2,174	2,174	資源管理型漁業を推進し漁業所得を向上させるため、中津干潟でのオーストラリア方式による養殖カキ「ひがた美人」の販売促進等の経費について、市が漁協に対して補助する。	1-(3)-①	指標①	年間観光入込客数	486	万人/年	平成29年3月	446	効果があった	継続	本事業によりカキの販路先が増え、販売量増加に効果があった。今後もカキの生産量を増やしていく計画であり、新たな販路を開拓する必要がある。
⑪	【サイクリングロードでつなぐ中津耶馬溪(なかつ やばけい)ブランド化推進事業】 なかつ6次産業創生事業	農政振興課		7,065	7,065	中津の食を観光素材として確立し誘客につなげるため、なかつ6次産業創生推進協議会が行う食のブランディングの専門人材招致や商品の販売促進に係る経費に対して、市が補助する。	1-(3)-①	同上				相当程度効果があった	継続	効果度合及び外部関係者の意見により、本事業は効果があったと判断出来るとともに、今後更に推奨品の認証数を増やして行くために取り組んでいくため。また、推奨品の認証数だけでなく、推奨品の認知度が向上するよう、これからも事業者と連携して取り組んでいくため。		
⑫	【子育て2.0のまちプロジェクト】 長期休業中児童クラブ運営事業	子育て支援課	推進	5,953	2,060	保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもたちに適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る児童クラブを長期休業期間限定で実施する。	4-(2)-②	指標①	合計特殊出生率	1.93		平成29年3月	1.94	非常に効果的であった	継続	既存の放課後児童クラブの待機児童解消、保護者の就労状況に合わせた利用など当事業のもたらす効果は大きい。また、保護者ニーズへのきめ細かな対応のうえ事業を継続することにより、子育て不安解消による出生率の増加、子育て環境改善による就職率の増加が期待できるため。
⑬	【子育て2.0のまちプロジェクト】 公園遊具等事業	都市整備課		4,863	2,431	東浜団地チビッコ広場 遊具(すべり台)更新 1基 中津川河川敷公園 休憩施設(ベンチ)更新 10基 金手沖代広場 防護柵更新 62m	4-(2)-④	同上				効果があった	予定通り事業終了	通常の国の補助事業としては実施が難しい小規模な公園を対象として事業を行った。近隣住民の子育て環境の向上に寄与したが、市域全体に波及する効果を挙げるためには、継続的・計画的に各地域の小規模公園等の施設の点検・改修を行っていく必要がある。今回、交付金事業としてある程度まとまった改修が行えたので、今後は市の単独事業として行っていく。		